

| | | | |
|--|---|---|-------------|
| 学期 / Semester | 2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月/Mon 3 |
| 開講期間 / Class period | 2015/09/28 ~ 2016/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20150587006101 | 科目番号 / Subject code | 05870061 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 健康と共生 (大学生の育児学) | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 大石 和代 | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 大石 和代 | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 大石 和代, 永橋 美幸, 上野 美穂 | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1年, 2年, 3年, 4年 | 講義形態 / Class form | 講義 |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟41 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 全学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | k-oishi@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 医学部保健学科5階大石和代研究室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7980 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | k-oishi@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 赤ちゃんへの関わりは既に妊娠中から始まっているが、親と子の絆形成に深く関係し、子どもの成長・発達、子どもの将来の人格形成に大きく影響を及ぼす。妊娠・出産、乳幼児の発育・発達と育児技術について学び、男女共同での育児への関わり方及び育児しやすい社会について考える。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 妊娠・出産・育児での男女の役割について説明できる。 胎児・乳幼児の発育・発達と養護について説明できる。 いくつかの育児技術を行うことができる。 男女ともに子育てしやすい社会について考えることができる。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | 妊婦体験やおもちゃ作り、育児技術の演習、グループワーク、親子との交流 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション~生命をつなぐ~ (大石) 2. 妊娠中からの親子のコミュニケーション (永橋) 3. 妊婦体験とマザーリングマザー (永橋) 4. 出産 (大石) 5. 新生児の能力と養護 (永橋) 6. 乳幼児の心身の発育・発達 (永橋) 7. 乳幼児の遊び (大石) 8. おもちゃ作り (大石) 9. 乳幼児の病気 (上野) 10. 乳幼児の事故 (上野) 11. 乳幼児の緊急時対策と応急措置 (上野) 13. 乳幼児との交流 (大石) 14. 子育て中の母親・父親との交流 (外来講師) 15. 男女ともに子育てしやすい社会について考える (大石) | | |
| キーワード/Key word | 妊娠・出産・育児、胎児・新生児・乳幼児、育児技術、男女共同参画 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 講義資料を配布する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 小テスト: 40% 演習・実習参加度: 30% 課題レポート: 30% | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | 授業外学習に当てるべき時間 (週2時間以上) | | |

| | | | |
|--|---|---|-------------|
| 学期 / Semester | 2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火/Tue 5 |
| 開講期間 / Class period | 2015/04/01 ~ 2015/09/27 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20150587006501 | 科目番号 / Subject code | 05870065 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 健康と共生 (仕事と健康) | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 楠葉 洋子 | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 楠葉 洋子 | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 楠葉 洋子, 中根 秀之, 黒田 裕美 | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1年, 2年, 3年, 4年 | 講義形態 / Class form | 講義 |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟43 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | kusubay@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 医学部保健学科2階 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7936 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 適宜 (事前にメール等で連絡をすること) | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 仕事は人間に報酬や達成感などの喜びをもたらすが健康問題にも関連している。雇用・労働環境を知り、メンタルヘルスの危機や生活習慣病などの仕事に関わる健康問題について理解する。 | | |
| 授業到達目標/Goal | <ol style="list-style-type: none"> 1. 壮年期の特徴について述べるができる。 2. 仕事をするこの意味について考えることができる。 3. 雇用環境・労働環境について述べるができる。 4. 仕事と生活習慣病の因果関係について述べるができる。 5. 病気をもちながら仕事を継続している人々のセルフマネジメントについて述べるができる。 6. メンタルヘルスのあり方について考えることができる。 7. 働く人々の健康の実態を知り、仕事を継続する上での望ましい健康術について考えることができる。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | 講義、演習 (個人学習、グループ学習)、学習内容の発表、討論などをまじえながら学習を進める。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | | | |
| キーワード/Key word | 仕事、壮年期、労働環境、生活習慣病、メンタルヘルス、セルフマネジメント、労働衛生 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 配布資料、参考書等については適宜紹介する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 授業への貢献度、レポート課題等を基に総合的に評価する。評価方法の詳細は授業ガイダンスで説明する。 | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | 特になし | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | まだ、賃金発生する仕事に就いた経験がない人が多いと思います。新聞やテレビ、インターネットなどで、仕事と健康に関係ある記事をチェックしたり、周囲で仕事をしている人たちの話を聞いたりすることが、授業の理解を深めるために有用です。 | | |
| 授業計画詳細 | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 授業ガイダンス、労働人口の特徴 (楠葉) | | |
| 第2回 | 仕事を持ち働くことの意味を考える (楠葉) | | |
| 第3回 | 雇用環境・労働環境の実態 (1) : 労働生活と健康の概略 (楠葉) | | |
| 第4回 | 雇用環境・労働環境の実態 (2) : 健康障害要因 (楠葉) | | |
| 第5回 | 雇用環境・労働環境の実態 (3) : 課題発表 : 業種別作業別健康問題 (楠葉) | | |
| 第6回 | 仕事と生活習慣病 : 糖尿病 (黒田) | | |
| 第7回 | 仕事と生活習慣病 : 虚血性心疾患 (黒田) | | |
| 第8回 | 仕事と腰痛、VDT作業と健康 (黒田) | | |
| 第9回 | 病気をもちながら仕事を継続するためのセルフマネジメント (楠葉) | | |
| 第10回 | 仕事とメンタルヘルス (1) : (中根) | | |
| 第11回 | 仕事とメンタルヘルス (2) : (中根) | | |
| 第12回 | 働く人々の健康の実態と労働衛生 (1) : サラリーマンの健康の実態 (楠葉) | | |

| | |
|------|--|
| 第13回 | 働く人々の健康の実態と労働衛生（2）：健診データを基に健康について考える（楠葉） |
| 第14回 | 働く人々の健康の実態と労働衛生（3）：（ゲストスピーカー：長岡清子）企業における健康管理、“ものづくり”における健康管理 |
| 第15回 | 働く人々の健康術：サラリーマンの健康術について考える（楠葉） |
| 第16回 | まとめ：課題学習；最終レポート課題の提出 |

| | | | |
|--|--|--|-------------|
| 学期 / Semester | 2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火/Tue 4 |
| 開講期間 / Class period | 2015/09/28 ~ 2016/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20150587006901 | 科目番号 / Subject code | 05870069 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 健康と共生 (若いと健康) | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 井口 茂 | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 井口 茂 | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 井口 茂, 横尾 誠一, 田中 浩二 | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1年, 2年, 3年, 4年 | 講義形態 / Class form | 講義 |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟41 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 選択 全学 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | 井口 茂 / shigeru@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 保健学科3階 井口教員室 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 井口茂 095-819-7962 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 火曜日 18:00 ~ 19:30 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 高齢者の加齢に伴う身体・心理的变化、環境への適応能力など生理的及び社会的変化を学び、高齢者に対するケアのあり方について議論していく。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の変化を理解する。() ・高齢者の社会的背景を理解する。() ・高齢者に対する希有の現象を理解する。() | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | PCプレゼンテーションを中心とした講義ならびに演習、ケアの現場見学、グループワーク、プレゼンテーション、討論を通じて自ら考え、行動する学習法を身につける。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 第1回 ガイダンス及び高齢者が抱える健康及び生活課題 (井口) 第2回 知っておこう! 介護保険 (井口・横尾・田中) 第3回 介護予防とは (井口・横尾・田中) 第4回 高齢者支援 - 自助・互助・公助 - (井口・横尾・田中) 第5回 高齢者の特徴的な病気と看護 (横尾・井口・田中) 第6回 高齢者の寝たきりと廃用症候群 (横尾・井口・田中) 第7回 高齢者の緩和ケア (横尾・井口・田中) 第8回 高齢者と家族 (横尾・井口・田中) 第9回 認知症とは (田中・井口・横尾) 第10回 認知を予防する (田中・井口・横尾) 第11回 認知症の方へのケアとリハビリテーション (田中・井口・横尾) 第12回 認知症の方を地域で支える (田中・井口・横尾) 第13回 見学オリエンテーション・準備 (演習及びグループワーク) 第14回 見学日 (演習及びグループワーク) 第15回 課題発表 (グループワーク及びプレゼンテーション、討論) 第16回 定期試験 | | |
| キーワード / Key word | 高齢者、健康、ケア、介護保険、住民活動 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書・教材・参考書: 特になし・必要に応じて資料を配付する | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 試験 (40%)、課題発表 (30%)、レポート (20%)、授業参加度 (10%) | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | 復習時間として週1時間以上を要する | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 高齢者の問題・課題は、介護問題だけでなく社会に関わる多くの要因が絡んでいます。自分が目指す分野における関係性について考えてみてください。 | | |

| | | | |
|--|--|---|-------------|
| 学期 / Semester | 2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火/Tue 3 |
| 開講期間 / Class period | 2015/04/01 ~ 2015/09/27 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20150587007301 | 科目番号 / Subject code | 05870073 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 健康と共生 (青年期の健康・体力増進) | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 中垣内 真樹 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 中垣内 真樹 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 中垣内 真樹, 山崎 浩則, 永江 誠治 | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1年, 2年, 3年, 4年 | 講義形態 / Class form | 講義 |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟43 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | gaichi@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 医学部保健学科体育館2F中垣内研究室 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-7966 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 月曜日 10:30~12:30、16:00~17:00 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 青年期にある大学生にとっての健康とは何かを学び、健康・体力増進のための体力トレーニング、スポーツ、食生活、メンタルヘルス等について理解する。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | <ol style="list-style-type: none"> 1. 身体活動と食事のセルフチェックができる。 2. 青年期における健康づくりの意義について理解する。 3. 精神的な健康について理解する。 4. 健康における運動、スポーツの意義について理解する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 講義にグループワーク、討論、演習、地域イベント参加等を取り入れ、自ら考え、行動する学習方法を身につける。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | | | |
| キーワード / Key word | 健康、体力、スポーツ、食事、メンタルヘルス、ヘルスポロモーション | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業へ臨む態度、グループワーク・討論での積極性、発表およびレポート内容を総合して評価する。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| 授業計画詳細 | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 4月7日 青年期に健康を考える～医療の観点から～ 山崎浩則(保健・医療推進センター) | | |
| 第2回 | 4月14日 青年期に健康を考える～ヘルスポロモーションの観点から～ 中垣内真樹(保健学科) | | |
| 第3回 | 4月21日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ 中垣内真樹(保健学科) | | |
| 第4回 | 4月28日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ 中垣内真樹(保健学科) | | |
| 第5回 | 5月12日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ 中垣内真樹(保健学科) | | |
| 第6回 | 5月19日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ 中垣内真樹(保健学科) | | |
| 第7回 | 5月26日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ 中垣内真樹(保健学科) | | |
| 第8回 | 6月2日 健康のための食生活について学ぶ ゲストスピーカー 松本妙子(栄養士) | | |
| 第9回 | 6月9日 健康のための食生活について学ぶ ゲストスピーカー 松本妙子(栄養士) | | |
| 第10回 | 6月16日 健康のための食生活について学ぶ ゲストスピーカー 松本妙子(栄養士) | | |
| 第11回 | 6月23日 青年期のメンタルヘルスについて学ぶ 永江誠治(保健学科) | | |
| 第12回 | 6月30日 青年期のメンタルヘルスについて学ぶ 永江誠治(保健学科) | | |
| 第13回 | 7月7日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加(チャレンジデーなど) 中垣内真樹(保健学科) | | |
| 第14回 | 7月14日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加(チャレンジデーなど) 中垣内真樹(保健学科) | | |
| 第15回 | 7月21日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加(チャレンジデーなど) 中垣内真樹(保健学科) | | |
| 第16回 | 7月28日 青年期の健康・体力についてのGW・まとめ 中垣内真樹(保健学科) | | |

| | | | |
|--|--|--|-------------|
| 学期 / Semester | 2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火/Tue 3 |
| 開講期間 / Class period | 2015/09/28 ~ 2016/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20150587007701 | 科目番号 / Subject code | 05870077 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 健康と共生 (障害体験と支援) | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 東 登志夫 | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 東 登志夫 | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 東 登志夫, 杉山 和一, 中尾 理恵子, 川崎 涼子 | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1年, 2年, 3年, 4年 | 講義形態 / Class form | 講義 |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟41 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 2年次 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | higashi-t@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 保健学科5t階 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-849-7994 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 金曜日 9:00-12:00 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 各種障害の疑似体験等を通して障害を理解し、その支援の必要性を体感するとともに、具体的な支援の方法について学ぶ。なかでも長崎市特有の斜面地の移動障害に焦点を当てて、その支援策について討議する。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な障害を挙げることができる ・障害を持った方が抱えている生活障害を理解する ・長崎の斜面地における移動障害を理解する ・障害者を支援する各種制度の概要を理解する。 ・斜面地における移動障害を支援する具体的方法について学ぶ | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 高齢者疑似体験セット, 片麻痺体験セット。車いす, アイマスク等を使用して、実際の障害を体験する演習や、長崎市の斜面地とその移動支援の方法を実際に視察する。さらに、実際に障害を持った方の体験を聞くことにより、障害に対する理解を深め、その支援方法について討議する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | | | |
| キーワード / Key word | 障害, 高齢者, 支援, 斜面 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 配付資料 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | プレゼンテーションでの発表内容 (20%), 各体験終了後のレポート (80%) にて総合的に評価。 | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | 特になし | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 本講義では、高齢者, 視覚障害, 片麻痺及び体車椅子の体験等を実際に体験し、障害を持つ方々への支援のあり方を一緒に考えます。興味がある方、是非受講してください。 | | |
| 授業計画詳細 | | | |
| 回 (日時) / Time (date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | オリエンテーション, グループ分け | | |
| 第2回 | 各種障害の理解 東 | | |
| 第3回 | 障害体験 (片麻痺, 車いす, 視覚障害) 東 | | |
| 第4回 | 障害体験 (片麻痺, 車いす, 視覚障害) 東 | | |
| 第5回 | 障害体験 (片麻痺, 車いす, 視覚障害) 東 | | |
| 第6回 | グループ討議 東 | | |
| 第7回 | グループ討議 発表 東 | | |
| 第8回 | 斜面地探索 (フィールドワーク) | | |
| 第9回 | 斜面地探索 (フィールドワーク) | | |
| 第10回 | 長崎市の斜面市街地の現状と課題 杉山 | | |
| 第11回 | 保健師による訪問指導について | | |
| 第12回 | 保健師による相談業務について | | |
| 第13回 | 高齢者・各種障害者を支援のあり方 中尾 | | |
| 第14回 | 高齢者・各種障害者を支援のあり方 中尾 | | |

| | |
|------|-----------------|
| 第15回 | 全体のまとめ 東 |
| 第16回 | 授業を振り返ってのグループ討議 |